

農産部会 WESTブロック が設立されました!

2001年はRadixの会の各専門部会の動きも盛ん、いくつもの活動の流れができてきました。7月26日兵庫県神戸市にて、新たな取り組みとして農産部会の地域ブロック化のための会議が開催されました。

News

News

■初代WESTブロック代表は蓬臺雅吾氏、各地域代表として4名を選任

近畿、中国、四国地方から集合したのは9つの生産者グループ・15名の方々。開催に際しRadixの会副会長の斉藤さん(有機栽培あゆみの会:茨城県)から「地域の土壌・気候風土が同じような場所の人間が集まって勉強会を開催し、問題点を同じように話し合えばいい。ブロック集会を機に生産性の向上に役立てましょう」。

会議ではRadixの会に入っている生産者の声を反映させていきたいという思いから、地域ブロック集会の運営の承認とその方向性の話し合いが行なわれました。承認事項は以下の通りです。

- 近畿・中国・四国地域を「農産WESTブロック」として運営
- ブロック代表に紀の芽の会・蓬臺雅吾氏を選任

- ブロックを4地区に分け、ブロック幹事を選任。中国地域＝ババラギの里・三船進太郎氏(広島・岡山・山口・鳥取・島根)、四国地域＝鴨島自然農法グループ・久米美氏(愛媛・香川・徳島・高知)、北近畿地域＝丹後有機産直センター・丸岡文雄氏(京都・兵庫)、南近畿地域＝ゆうき伊賀の里・福広博敏氏(滋賀・和歌山・三重・奈良・大阪)
- 土壌分析勉強会や小祝塾などによる技術向上勉強会を開催する。

話し合いの中では「グループの若手を出してパソコンの勉強会」「消費者の声を直接聞くため、配送車に同乗したり、インターネットのホームページを利用」「女性が意見を言えて、技術向上に役立つ場を」などなど、新たな構想も発案されました。



我々が農産部会WESTブロックを盛り上げていきます!

最後に代表になられた紀の芽の会蓬臺さんから「WESTブロックを他の地域よりいち早く作ったのですから、良い見本になるようにしていきましょう」とのかけ声。このWESTブロックを確実に成功させることが、前例作りとなり、他の地域のブロック化への広がり大きな弾みになるといえます。今後農産部会では順次各地域でのブロック化を進めていく予定です。どうぞよろしくお願い致します。(事務局 鈴木)

土壌分析をどんどんやろう!

簡易土壌分析キット「Drソイル」会員頒布開始

らでいついゆぼーやは9月より、簡易土壌分析キット「Drソイル」(富士平工業(株))のRadix会員向け販売を開始。同時に事務局で購入者補助を実施します。

■理想的なPDCA

Radixの会事務局では昨年11月より、技術集会や小祝塾の全参加者の土壌分析を実施してきました。これらの集会では、各成分の役割や過不足を知り、数値で土壌分析の有効性を知りました。

作物の状態を観察し、土壌分析から成分の過不足を理解し、かたよりを補正する。結果作物がどう変わったかを見て次につなげる。作物栽培の理想的なPDCA(Plan, Do, Check, Action)サイクルを作り出し、更なる高品質・収量増を目指す

手掛かりが土壌分析だと言えます。こまめに分析を行えば、目に見えない土壌成分の変化も追うことができます。

自分の作のタイミングが良いとき、作物の状態を見て「おや?」と思ったとき、次に施す肥料をどうしようかと思ったとき、この思ったときに自分で調べられれば理想的です。

■Dr.ソイルの習得と施肥設計はパソコン教室で

Radixの会農産部会では、この秋10月から、農産の生産者を対象としたパソコン教室の開催を予定しています。今年1、2月に開催された「パソコン教室基礎編」とは異なり、今回は土壌分析と施肥設計を一日でマスターしてしまお

うという欲張った勉強会です。

午前中に簡易土壌分析器Dr.ソイルを使用し、富士平工業様にご協力を頂いて参加者全員が分析方法と注意事項を学びます。午後は「施肥設計ソフト」の使いこなし。実際にパソコンを使い、午前中に分析した値と自分が使用する予定の肥料の値を使ってシミュレーション。この勉強会で土壌分析から施肥設計までの一連の流れをマスター。簡単マニュアルもお渡しする予定です。ご期待ください。



Dr.ソイル「おや?」と思ったときが調べどき。ぜひ頒布をご利用ください。